

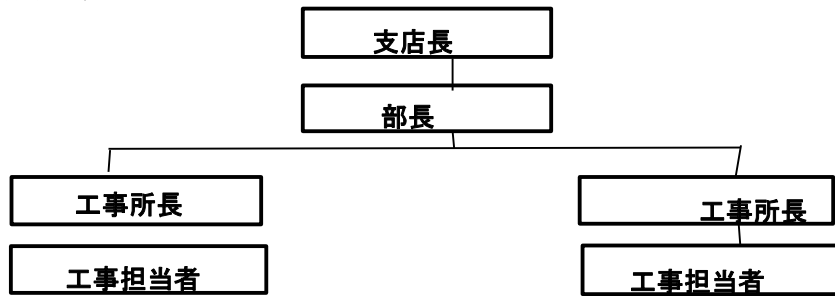
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 6月 30日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 大阪府豊中市新千里西町1-1-4	
氏 名 パナソニックホームズ（株） 近畿支社 松尾 伸治 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6834-5049	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	パナソニックホームズ（株）近畿支社 大阪支店
事業場の所在地	大阪府豊中市新千里西町1-1-4
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	14,271百万円
③従業員数	163人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	■解体工事 ・がれき類（コンクリート塊）→中間処理業者へ委託し、再生砕石として再資源化 ・木くず→中間処理業者へ委託し、チップ（合材用、燃料用）として再資源化 ・廃プラスチック類→中間処理業者へ委託し、RPFとして再資源化 ・建設系混合廃棄物→中間処理業者へ委託し、選別・破碎し再資源化又は埋め立て処分 ■新築工事 11品目に現場で分別後、センターで一括回収し、中間処理業者へ委託、再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ①梱包材の削減 ②余剰部材の削減 ③センターによる集中回収		
②計画	【目標】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ①梱包材の削減 ②余剰部材の削減 ③センターによる集中回収		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物の種別で分類し袋詰め保管
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施無し		
②計画	【目標】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施無し		
②計画	【目標】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施無し		
②計画	【目標】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行う		

②計画	【目標】 ※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 委託業者の選択時には、業者の現地確認を実施する		

※事務処理欄	
--------	--

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

集計用シート 前年度【令和5年度】実 績

提出						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府豊中市千早千早西町1-1-4	パナソニックホームズ(株)近畿支社	建設部		06-6834-5049	06-6834-8212	

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下桁まで記載は可。

産業廃棄物の種類		計 実 施 状 況										（ 注＝①-②-③-④+⑤-⑥-⑦＝⑧+⑨+⑩+⑪+⑫）										⑬+⑭		⑮+⑯	
		①排出量 (t)	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t)	⑩直接及び自己処理した後の処理委託量 (t)	委託先による区分				⑰優良認定処理業者への処理委託量 (t)	⑱自ら再生利用を行った量 (t)	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)							
コード	名 称										⑪再生利用者への処理委託量 (t)	⑫熱回収認定業者への処理委託量 (t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量 (t)	⑭その他の中間処理委託量 (t)	⑯埋立処分委託量 (t)										
コード 事項	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量④中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑦の量を差し引いた量	⑧の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑨の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	⑩の量のうち、中間処理及び最終処分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量 (⑫、⑬を除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施設外の熱回収を行っている処理業者への委託処理委託量	⑬の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑰～⑱を除く)	⑭の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑮の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑯の量と⑱の量を合計したもの(自動計算)	⑰の量と⑱の量を合計したもの(自動計算)							
1	600 廃プラスチック類	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0							
2	700 建設工事の紙くず	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0							
3	800 建設工事の木くず	317	0	0	0	0	0	0	0	0	317	317	0	0	0	317	0	0							
4	900 建設工事の繊維くず	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0							
5	1200 金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
6	1300 ガラスくず等	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16	0	0	0	9	0	0							
7	1500 がれき類等	680	0	0	0	0	0	0	0	0	680	680	0	0	0	227	0	0							
8	2200 管理型建設混合廃棄物	201	0	0	0	0	0	0	0	0	201	201	0	0	0	55	0	0							
9	2440 がれき類(石綿含有産業廃棄物)	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	31	31	0	0							
10								0			0						0	0							
11								0			0						0	0							
12								0			0						0	0							
13								0			0						0	0							
14								0			0						0	0							
15								0			0						0	0							
16								0			0						0	0							
17								0			0						0	0							
18								0			0						0	0							
19								0			0						0	0							
20								0			0						0	0							
合計											0						0	0							
		1,250	0	0	0	0	0	0	0	0	1,250	1,219	0	0	0	31	642	0	0						

集計用シート 今年度【令和6年度】目 標

提出						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府豊中市新千里西町1-1-4	バナソニックホームズ(株)近畿支社	建設部		06-6834-5049	06-6834-8212	

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下桁まで記載は可。

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																	②+③ 自ら再生利用を 行った量 (t)		④+⑤ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った量 (t)	
		(⑩ = ①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)																				
コード	名 称	①排出量 (t)	②自ら直接再生利 用した量 (t)	③自己直接埋立処 分又は海洋投入処 分した量 (t)	④自ら中間処理し た量 (t)	④のうち熱回収 を行った量 (t)	⑤自ら中間処理し た後の残量 (t)	⑦自ら中間処理によ り減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した 後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理し た後自ら埋立処分 又は海洋投入処分 した量 (t)	⑩直接及び自ら自己 処理した後の処理委 託量 (t)	委 託 先 に よ る 区 分					⑰他県認定処理業 者への処理委託量 (t)					
												⑪再生利用者への 処理委託量 (t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量 (t)	⑬熱回収業者以外の 処理委託量 (t)	⑭その他の中間処 理委託量 (t)	⑮埋立処分委託量 (t)						
コード 参照	産業廃棄物の種類 ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立 処分又は海洋投入 処分した量	①の量のうち、自ら 中間処理した産業 廃棄物の当該中間 処理前の量	④の量のうち熱回収 を行った量	自ら中間処理を行っ た後の量	⑦の量から⑧の量 を差し引いた量	⑧の量のうち、自ら 利用し、又は他人に 売却した量	⑨の量のうち、自ら 埋立処分及び海洋 投入処分した量	中間処理及び最終処 分を委託した量	⑩の量のうち、認定熱 回収施設設置者へ の再生利用委託量 (⑬、⑭を除く)	⑫の量のうち、処理業 者への委託量	⑬の量のうち、認定熱 回収施設設置者以外 の熱回収を行っている 処理業者への委託 量	⑭の量のうち、委託 して破砕等の中間 処理した量(⑮～⑱ を除く)	⑮の量のうち、直接 委託して埋立て最 終処分した量	⑯の量のうち、他県 認定処理業者への 委託処理量	②の量と③の量を合 計したもの(自動 計算)	④の量と⑤の量を合 計したもの(自動計 算)				
1	600 廃プラスチック類	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	0				
2	700 建設工事の紙くず	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0				
3	800 建設工事の木くず	300	0	0	0	0	0	0	0	0	300	300	0	0	0	0	290	0				
4	900 建設工事の繊維くず	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0				
5	1200 金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
6	1300 ガラスくず等	15	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	0	0	0	0	10	0				
7	1500 がれき類等	650	0	0	0	0	0	0	0	0	650	650	0	0	0	0	220	0				
8	2200 管理型建設混合廃棄物	190	0	0	0	0	0	0	0	0	190	190	0	0	0	0	50	0				
9	2440 がれき類(石綿含有産業 廃棄物)	25	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	25	25	0				
10								0			0						0	0				
11								0			0						0	0				
12								0			0						0	0				
13								0			0						0	0				
14								0			0						0	0				
15								0			0						0	0				
16								0			0						0	0				
17								0			0						0	0				
18								0			0						0	0				
19								0			0						0	0				
20								0			0						0	0				
合計		1,185	0	0	0	0	0	0	0	0	1,185	1,160	0	0	0	25	599	0				